

# これまでの合併特例債の使い道と今後の予定をお知らせします。

笠間市では、合併特例債を笠間市総合計画に基づいた事業で、市の一体性を高めたり、均衡ある発展や住民福祉の向上を実現したりするため、特に必要な事業に活用しています。具体的には、旧市町を結ぶ道路の整備や地域の発展に必要な駅周辺の整備、小中学校などの耐震化や児童館の整備など市民の生活に身近な事業に活用しています。平成18年度から平成25年度(予定)までの8年間で約105億円を活用しています。

これまでの合併特例債の主な使い道や今後の予定についてお知らせします。

## 合併特例債とは

合併特例債とは、合併した市町村が、新しいまちづくりのため、新市建設計画に基づいて、特に必要な事業の財源として借り入れることができる地方債(借入金)のことをいいます。

合併特例債の活用は、合併初年度を含む10か年度(笠間市では平成27年度まで)に限られます。

なお、活用する事業費のおよそ95%(充当)まで借り入れることができます。借



岩間駅駅舎・自由通路完成

り入れた地方債の将来支払い元利償還金の70%が地方交付税によって措置されま

## これまでの使い道

新しい笠間市が平成18年3月19日に誕生し、平成18年度から、旧市町を結ぶ道路や老朽化が進んでいた小中学校の耐震補強などの事業がスタートしました。

### 平成18年度から平成23年度まで

#### 主な道路整備事業

- 笠間小原線、大淵飯田線、友部池野辺線、友部1級12号線(平町〜大古山)、友部2級10号線(住吉〜湯崎)、岩間八郷線、上町大沢線、南友部平町線、来栖本戸線、友部1級5号線(小原)

#### 都市整備事業

#### ○岩間駅周辺整備

#### 学校施設等整備事業

#### 改築

#### ○岩間中学校、笠間学校給食センター

#### 耐震補強

#### ○友部中学校、笠間小学校、岩間第三小体育館、笠間中学校、宍戸小学校

#### 福祉施設整備事業

#### ○児童館

## その他

### ○まちづくり振興基金積立

平成18年度から平成23年度までは、これらの事業などで合計68億5,510万円を活用しました。

### 平成24年度

笠間学校給食センターの施設整備や笠間市民体育館の大規模改修が完了しました。道路整備では、来栖本戸線等の整備を進めました。

#### 学校施設等整備事業

- 笠間学校給食センター 7億7,910万円

#### 主な道路整備事業

- 来栖本戸線 6,740万円

#### ○笠間小原線(桂町工区)

- 6,350万円

#### ○上町大沢線

- 4,610万円

#### 都市整備事業

- 岩間駅周辺整備 4億1,790万円

#### ○岩間駅東大通線延伸部

- 8,270万円

## その他

- 笠間市民体育館大規模改修 6,510万円

○まちづくり振興基金積立 4億7,500万円  
平成24年度はこれらの事業などで合計21億8,190万円を活用しました。

### 平成25年度の予定

道路整備では、友部1級5号線等の整備を予定しています。また、都市整備では、岩間駅東大通線延伸部を整備します。

#### 学校施設等整備事業

- 笠間学校給食センター(外構整備) 2,980万円

#### 主な道路整備事業

- 友部1級5号線(小原) 1億590万円

#### ○来栖本戸線

- 9,410万円

#### ○笠間小原線(桂町工区)

- 7,240万円

#### 都市整備事業

- 岩間駅東大通線延伸部 1億3,060万円

#### ○笠間稲荷門前通り

- 6,870万円

#### ○笠間地区市街地浸水対策

- 5,950万円

## その他

- まちづくり振興基金積立

4億7,500万円

平成25年度はこれらの事業などで約14億円の合併特例債の活用を予定しています。

### 今後の使い道

現在まで進めてきた幹線道路の整備や学校の耐震補強などへの活用を予定しています。

また、まちづくり振興基金を設置し、合併特例債終了後の新市の一体感の醸成と均衡ある発展に資する事業の財源としての活用を予定しています。

### 主な道路整備事業

○南友部平町線

2億5,890万円

○来栖本戸線

2億4,830万円

### 都市整備事業

○岩間駅東大通線延伸部

9,970万円

### その他

○まちづくり振興基金積立

2億6,600万円

合併特例債は、合併後10年間の限定的な制度です。非常に有利な財源ではありません。



笠間稲荷門前通り完成イメージ



笠間学校給食センター完成

ますが、借入金であること  
に変わりはありませんので、  
真に必要なものを厳選し、  
有効に活用していきます。

## 合併特例債活用事業

### 道路整備事業

(単位：百万円)

事業名	事業年度	事業費	借入(予定)額
友部1級12号線 (平町～大古山)	H18～H21	919.7	424.3
岩間八郷線	H18～H21	521.3	273.8
大洲飯田線	H18～H22	587.9	289.9
友部池野辺線	H18～H22	550.7	268.9
友部2級10号線 (住吉～湯崎)	H18～H22	524.3	251.8
南友部平町線	H18～H27	1,250.0	786.8
来栖本戸線	H19～H27	1,200.0	554.9
その他の道路整備		4,233.0	2,017.7
<b>小計</b>		<b>9,786.9</b>	<b>4,868.1</b>

### 都市整備事業

(単位：百万円)

事業名	事業年度	事業費	借入(予定)額
岩間駅周辺整備	H18～H24	2,366.2	1641.2
岩間駅東大通線	H21～H27	829.6	354.1
笠間稲荷門前通り整備	H23～H26	340.2	150.8
その他の都市整備		382.1	188.4
<b>小計</b>		<b>3,918.1</b>	<b>2,334.5</b>

### 林道整備事業

(単位：百万円)

事業名	事業年度	事業費	借入(予定)額
林道本戸前山線	H20～H21	51.8	24.5

### 学校等整備事業

(単位：百万円)

事業名	事業年度	事業費	借入(予定)額
友部中学校	H18～H19	805.5	589.0
岩間中学校	H20～H22	1,391.7	793.8
笠間中学校	H22～H23	154.1	97.5
笠間学校給食センター	H23～H25	930.4	822.8
その他の学校等整備		857.8	556.3
<b>小計</b>		<b>4,139.5</b>	<b>2,859.4</b>

### その他

(単位：百万円)

事業名	事業年度	事業費	借入(予定)額
児童館	H22～H23	143.5	114.1
まちづくり振興基金積立	H23～H26	1,780.0	1,691.0
児童クラブ、庁舎整備等		447.4	215.7
<b>小計</b>		<b>2,370.9</b>	<b>2,020.8</b>

合計	事業費	借入(予定)額
	20,267.2	12,107.3

○合併特例債起債可能上限額 約322億円

合併特例債借入(予定)額 約121億円  
(現在予定している借入の総額です。起債可能上限額の約38%となります。)

○まちづくり振興基金への積立上限額 約26億7千万円

まちづくり振興基金への積立予定額 約17億8千万円  
(積立上限額の約67%)

※笠間市では、約322億円の合併特例債の活用が可能ですが、合併協議会において、これをすべて活用するのではなく、道路や学校の耐震化などの真に必要なものに活用するとしており、今後もこの方針を基本に、財政状況等と照らし合わせながら活用する予定です。